



広報
報

たしる

謹賀新年

20001

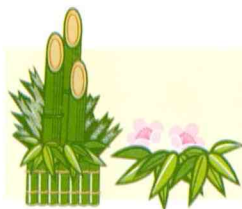
No 565 新年号

平成13年 1月 1日発行 (12月合併号)

田代町役場企画管財課編集

肝属郡田代町麓827番地1





田代町議会議長

瀬口 勝

21世紀の幕 明けましておめで

町民の皆さん、新年明けましておめでとうございます。二十一世紀の幕開けを、希望に満ちた新たな気持ちでしかも、健やかに迎えたいとお慶び申し上げます。

「一年の計は元日にあり」と申します。年頭に当たり前年をふり返るとともに、前年の反省の上に立って今年の目標や計画を立てるものであります。昨年は例年と違って、春先からの天候もほぼ順調で、台風の影響もなく、農家経済にとっては期待をされた、また期待の持てる年であったと思われましたが、一年が終わってみると、茶をはじめ、タバコ・水稲・園芸作物等、いずれも期待された成果を収めることができず、特に茶に於いては大幅減収となり、一昨年「七億円達成記念祝賀会」を開催したばかりですが、茶農家の皆さんの気持ちを察するとき、この上もなく居たたまれない気持ちで新年を迎えました。

古来、「経済は生きもの」といわれ、浮沈はつきものであるが、農業に限らず、商工業にしても「継続は力なり」の精神で発展的にとらえ、創意と工夫をこらしながら努

力されることを期待したいと思ひます。

ところで、今年はいよいよ二十一世紀初年となりました。二十一世紀と申しましたも皆さん方の暮らしの中では、何ら変わるものではないと思ひますが、国や地方の政治の世界では大きな変革を遂げようとしております。

国では、今年から省・庁の再編が行われます。

また、地方においても、地方分権推進法が制定されたことにより、地方の役割と分担、責任の度合いは以前と比べものにならない位、重要かつ重大となつてきております。

更に重要視されているのが市町村合併の問題であります。鹿児島県はいくつかの合併パターンを公表し、平成十七年度合併を目途に推進のための活動を始めております。

町議会はもとよりでございますが、町民の皆様の理解と合意がなければ成し得る事業ではありませんので、それに備えた「心づもり」も重要になつて参ります。

町行政としては、生産基盤や環境基盤がほぼ一定のレベルに達したことを受け、今、まちづくりに寄せる町民の意

識は「物の豊かさから心の豊かさ」へ変化してきており、安心して生活できる、喜びを実感できる質の高いまちづくりが望まれております。

このため、重要な施策の一つとして、高齢化社会の到来が現実となつてきた昨今の情勢から、高齢者の皆様の福祉、保健、医療の総合的なプランの作成や、これからお年寄りや障害を持った方々と、町民の皆様がお互いに助け合いながら、生きがいを持って暮らしていけるまちづくりに取り組んでいく必要があります。

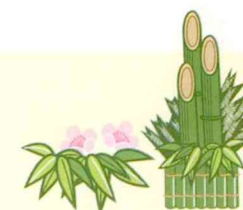
一方、いまだ景気回復の兆しの見えない中、国・県・地

方の財政を取り巻く環境も厳しさを増しており、まちづくりの施策も様々な工夫を凝らした選択が求められております。

そこで、我々はこれからの新しい時代の流れをしっかりと受け止め、人と町が生き生きと輝く「新たなまちづくり」を目指して、果敢に取り組んでいく必要があります。

町民の皆様におかれましても、町発展のため、より一層のご支援ご協力をお寄せいただきたいと思います。

最後となりましたが、ご家族ともども、健康で幸多い年でありますようお祈り申し上げます。



田代町長

前之園 良輝

開けです。 とうございます。

明けましておめでとうございます。町民各位におかれましては、二十一世紀幕開けの新春を家族おそろいで健やかに迎えられることと心からお慶びを申し上げ、旧年中は町政運営全般にわたり格段のご高配とご支援を賜りましたことに對し厚くお礼申し上げます。

さて二十一世紀を迎え私共日本の政治経済社会の分野では激動の変革の時代となっておりますが、この二十一世紀が心豊かで平和な時代であるために私共は日々努力する必要がある、夢と希望に満ちあふれた新世紀を創出する役割と責任があると思つております。

私は町長就任以来住民本位で公平民主的な町政、町民お一人お一人が心豊かで安心して暮らせる明るく活力に満ちた町づくりを基本に町政運営をして参りました。今私共日本は高齢少子化の時代を迎えておりますが、田代町も例外ではなく、人口の減少高齢化の波は急激に押し寄せ地場産業、地域社会の担い手不足による地域活力の低下が懸念さ

れる状況下にあります。この様な時私は

- (一) 豊かさゆとりを実感できる地域社会の実現、
- (二) 地域の特性を生かした自主的主体的な地域づくり
- (一) 生活に密着した社会資本の整備
- (二) 災害に強い安全な町づくり
- (一) 総合的な地域福祉施策の推進
- (二) スポーツ文化を通じた地域の振興、等々諸施策を積極的に進め誠心誠意全力投球をして参りました。

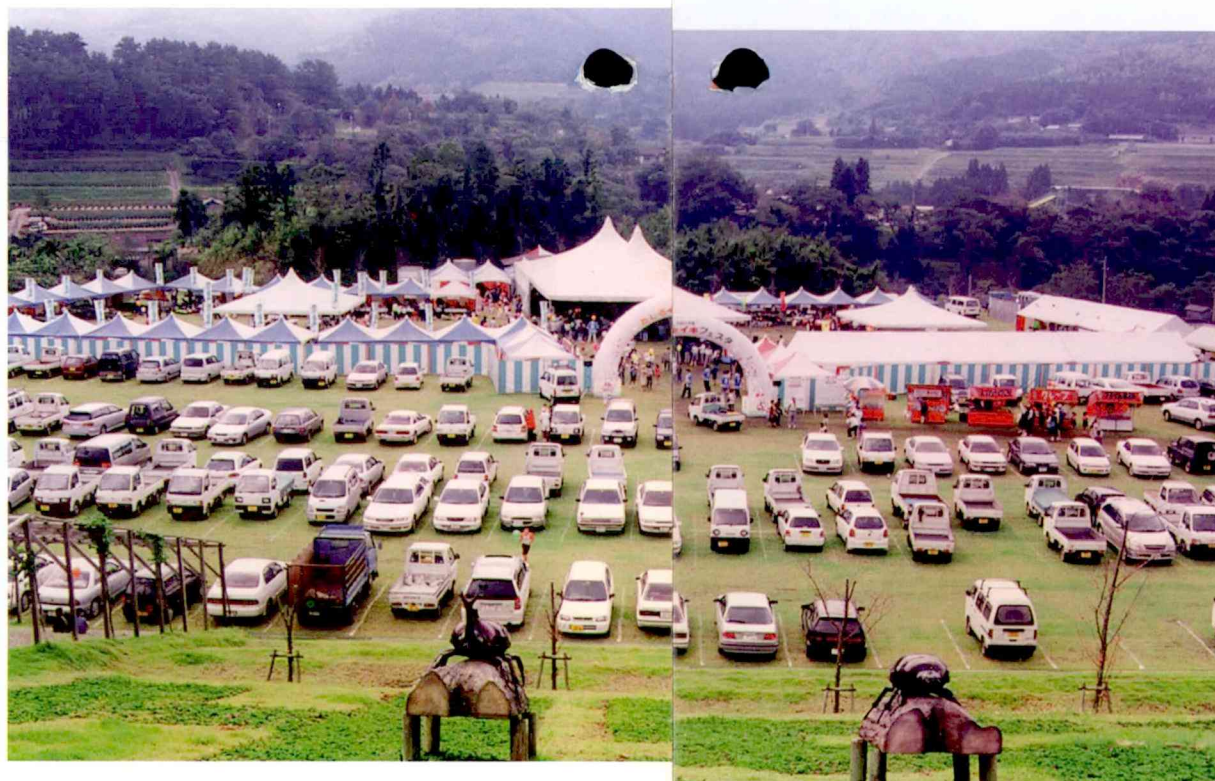
又本町は一次産業の振興活性化が二次産業、三次産業の活性化につながるという基本理念を持っておりますが、基幹産業であります農業ではお茶が販売目標額を達成できませんでしたが、タバコ、肉用牛は平年を上回る成績を収めることができました。特に肉用牛では鹿児島畜産共進会に於きまして、上久保文夫さん所有の「いちふじ八号」が農林水産大臣賞であるグランドチャンピオン賞獲得第

一位入賞、肉用牛女性審査競技の部で水流洋子さん、近川良子さん、山元洋子さん、三氏一組が県第一位入賞、平成十二年度鹿児島畜産界の頂点に立っていただきました。このことは関係者の名譽のみならず田代町の名譽であり本町畜産振興の起爆剤、本町肉用牛品質向上に大きく貢献していただきました。

又私共日本は人生八十年時代を迎えておりますが、この人生八十年時代が実りある意義あるものである為には、心身共に健康でなければなりません。自分の健康は自分で守ることが原則であり、少しでも多くの幸せを実感する為一生涯学びつづけてゆく生涯学習に取り組むことは大切な

ことであります。私共は町民の皆様の健康を守るため各種保健事業を導入し病気の早期発見、早期治療に取り組みをいたしております。各種健診はかならず受診していただき生涯学習の機会にも積極的に参加していただきますことをお願いいたします。

最後になりますが、本年も町民の皆様方の温かいご理解とお力添えを賜りますことと、町民各位の益々のご健勝ご多幸をお祈り申し上げます。のあいさついたします。



成人の決意!

私の思う事



永野幸四郎

二十歳という素晴らしい時を、こうして健康に迎えられる事をうれしく思います。良き環境の中で、人の温かさに触れながら、楽しい日々を送る事の大切さを、実感している毎日で。

物質的に、とても豊かになったと言われる現代、便利になった一方で、心が荒んでいく様に感じます。他人の意見を聞こうとせず、自分中心に物事を進める人、自分では何とせず、他人に意見ばかりする人、理性を失い、犯罪を犯す人。「小子高齡化社会」と、問題視される社会ですが、高齢者の方々に学ぶべき事が、沢山ある様に思います。

子供は子供だけで、大人は大人だけで、世代ごとに壁を作っている社会、そんな壁を取り除き、共に社会を形成する一つの仲間として活力ある社会が出来ればと考えています。高齢者の方々と、私達若者が、もつと沢山の意見交換をする事で、新しい大きな社会が、生まれる事を望んでいます。

「邂逅」、私の尊敬する方に、贈っていた言葉です。意味としては、自分の人生をまたは人生観を変えるような、そんな人物や、物事との出会いを言うそうです。どんなに素晴らしい出会いがあっても、それを受け入れる心が無くては、何も意味がありません。これから、様々な出会いを経験し、一人の人間として大きくなっていくために、そんな広い心を持った人間になりたいと思います。

目標をしっかりと持ち、それに向かって努力する事を忘れずに、これからという素晴らしい時間を過ごしていきたいです。

成人を迎えて



竹 みどり

新年明けましておめでとうございます。成人式を迎え今感じていることは、これからは一人の大人としての責任を持たなくてはならなくなってきたということ。選挙権をはじめ、これからの行動はすべて自分で責任を持たなければなりません。だから、今まで以上に

上に自分の行動には責任と自覚を持ちたいと思います。私は現在、千葉県にある国際武道大学に在学しています。大学では剣道を中心として体育の教師を目指して頑張っています。剣道を小学二年生から始め、現在まで続けている中で多くのことを学んできました。それは、剣道の技術だけではなく、礼儀やあいさつ、特に精神面です。欲しい物を我慢すること、相手を思いやること、何事も一生懸命努力すれば結果が出るなどです。今まで剣道をしていて楽しかったことよりも、苦しいことの方が

多かったのですが、本当に剣道が続いて良かったと思います。これからは夢である体育の教師を目指して勉強と剣道を頑張っていこうと思います。

今日、こうしてこの良き日を迎えられるのは、両親をはじめたくさんの方々のおかげだと思います。両親は今まで私のわがままをたくさん聞いてくれました。剣道が続くことで、高校、大学とお金を一生懸命働いて出してくれました。私が大学で剣道が続けられているのも両親のおかげだと思います。本当にありがとうございます。また、私の周り

りで励まして下さった先生方、友達に感謝いっぱいです。私が悩んだり、こまっていた時に温かいアドバイスや一緒に考えて下さいました。

私はこれからもお世話になった両親、先生方、友達への感謝を忘れず、これからは自分が両親や先生方、友達の方になれるように頑張りたいと思います。また、大学生生活はあと二年残っていますが、体育の教師を目指して社会人として立派になれるように頑張っていこうと思います。

たしろいきいきフェスタを開催



十一月三日の一大イベントとして「たしろいきいきフェスタ」を開催しました。例年単独開催をしていた行事等を諸般の事情により統合しての初めてのイベントで、会場も花瀬オートキャンプ場の多目的広場に特設テントを設営して盛大に開催されました。

断及び献血⑩行政コーナーなど盛りだくさんの内容で、今年は、県共で農林水産大臣賞（グラントチャンピオン）を獲得された上久保文夫氏所有の「いちふじ8号」の披露も実施し多くの見学者で賑わいました。特別講演では、落語家の橋家圓藏師匠による「笑いと人生・笑いがなければ人生は味なし」と題する講演と高座の落語をそれぞれ師匠独特の笑いをまじえて話されました。



本町池野出身 田中静夫さん カヤの木彫り物奇贈



犯罪者の保護更生に尽力30年間 「秋の叙勲」 富尾一己氏（鶴園集落）



平成十二年秋の叙勲で、保護司・富尾一己（大正十年二月生鶴園集落）さんが、藍綬褒章を受賞されました。富尾さんは、昭和四十五年

に法務大臣より保護司を委嘱され以来現在も続けて居られますが、今回の叙勲を期にその間の体験の手記がご覧いただけますので以下に抜粋して掲載させていただきます。

「私が保護司を引き受けた理由には、進んでお話し出来るような事柄では無く悲惨・残酷な動機からです。戦争体験により、戦争は、正常な人間の正常な精神状態では出来ない、残酷・悲惨・卑劣な行動で、相手を先に殺さないと自分が殺される」と云う完全に心の病気の犯罪行為でしかないと感じており、死んでも忘れることの出来ない出来事でした。

若宮神社八幡相撲甚句

作：柴 立 昭三郎

若宮神社八幡相撲甚句
ハア！ドス！ドス！
荒西の山から田代も見えど
ハア！
南無一輪の稲穂
自然死した照葉樹
庭野の緑はお茶処
庭の隅に黒毛和牛
日本が誇る名産
椿は桜に比べ
夏はブルーにパンカロー
あがり取りきつた
秋はおいし、田代米
冬は節分 鬼火焚
伝説芸能 教あれど
花魁不致に棒踊り
今日は相撲に花を添え
時を元禄十四年
川原盆地の高台に
若宮神社を奉建し
八幡相撲を奉納す
途中途絶えた時期あれど
若少年の育成
豊後折鶴を念いつ
かたな復活する事に
想い起せば開取の
大旗回り土俵入
肝属の若者が
力相撲と披露する
今は幼児 青壮年
優勝めさして取り組む
我が子の出番と相成れば
あらんかきりの声と出し
選手以上に力入れ
観客席も盛り上がる
町民和となり村おこし
豊年瑞作 甚句節
無病息災ヨシヨシ
ハア！ドス！ドス！
ハア！ドス！ドス！
作 柴立昭三郎

中央省庁が再編されます

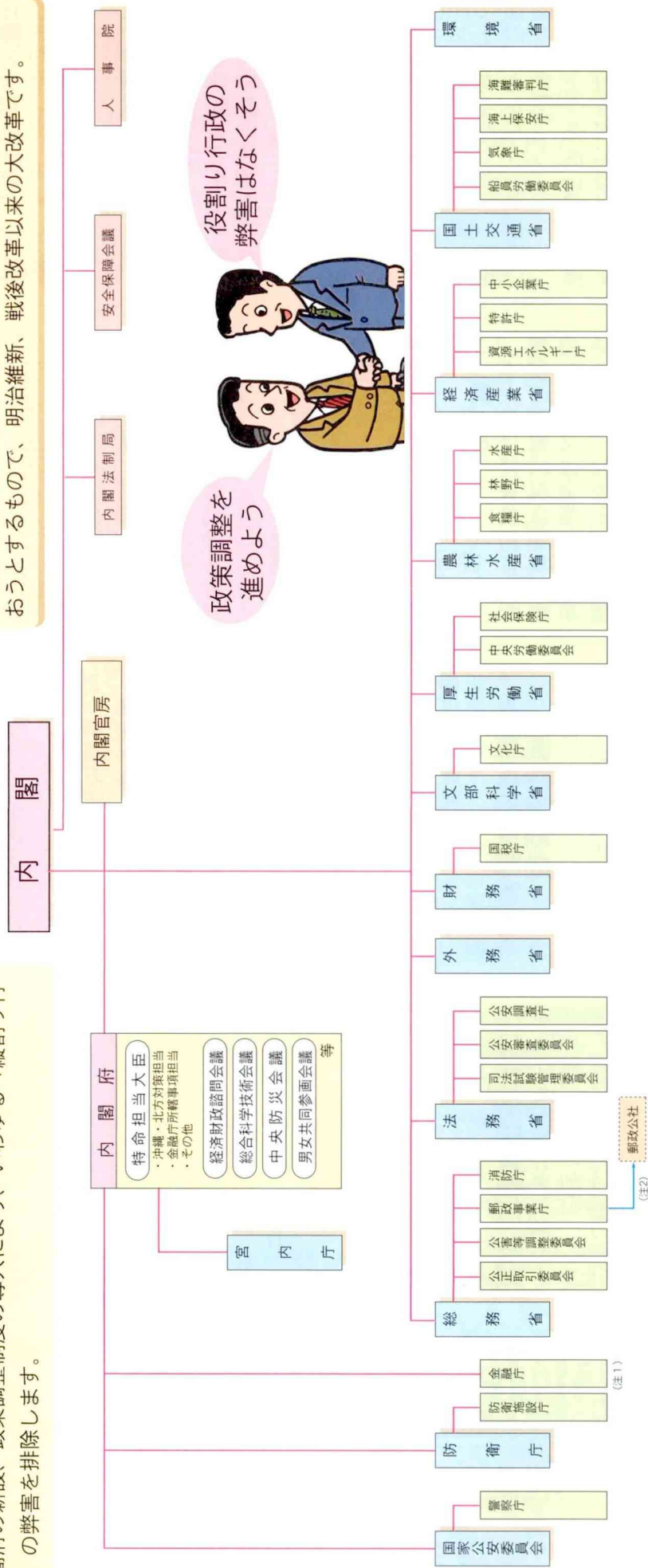
平成13年1月6日から

- 省庁を1府22省庁から1府12省庁に大きくくり再編成します。
- 内閣府の新設、政策調整制度の導入により、いわゆる「縦割り行政」の弊害を排除します。

明治維新、戦後改革以来の大改革

今回の改革は、国民生活にとって重要な課題や内外の諸情勢に的確に対応できるよう、①中央省庁の大括り再編成、②政治指導の行政運営の確立、③行政のスリム化・効率化、④独立行政法人制度の創設、⑤行政の透明化などをあわせて行うものです。

目前に迫った21世紀に向けて、世紀に一度という大改革を行うとするとするもので、明治維新、戦後改革以来の大改革です。



省庁を大括りに再編成

21世紀に向けて、複雑な政策課題に的確に対応できるよう、現行1府22省庁を1府12省庁に再編成します。

- 任務を基軸に11省庁を4省に大括り
 - 郵政省、自治省、総務省
 - 文部省、科学技術省
 - 厚生省、労働省
 - 農林省、建設省
 - 国土地交通省
 - 環境省、建設省
 - 経済企画庁、沖縄開発庁
- 総務省を環境省に昇格
- 他の7省庁についても、任務に応じて所掌事務を見直し、大蔵省を財務省に、通商産業省を経済産業省に

(注1) 金融庁は平成12年7月設置、金融再生委員会は平成13年1月廃止。

(注2) 郵政事業庁は平成15年中に郵政公社に移行。

市町村合併を考える

2

十一月三日付けの新聞によつてご存じの方も多いと思いますが、先月号から特集している「市町村合併」について、鹿児島県が合併パターンを示されました。

これは、あくまでも参考という事ではありますが、現在の過疎化・少子高齢化の最先端にある本町に於いては、他人事ですまされない状況にあり、町民の皆さんの関心事であると思われま

すので次に肝属の場合を示します。

県の考えでは、九十六市町村を最小で十二自治体にする位の考えであるようです。

Aパターン

(日常生活圏の結びつきなどが一定以上の基礎的な組み合わせ)

Bパターン

(日常生活圏の結びつきなどを基本に、郡市の区域や多種政策的圏域などを勘案した基礎的な組み合わせ)

Cパターン

(Aパターンを基礎にしたより広域的な組み合わせ)

Dパターン

(Bパターンを基礎にしたより広域的な組み合わせ)

県の説明では、合併パターンは地域の自主的な取り組みの参考・目安であり決めるのは、市町村である。時期についても、いつまでと決めていないと言うが、国の優遇措置は平成十六年までとなっております。

国も県も市町村も財政が悪化し私達を取り巻く環境を考えるとどういった選択が良いか皆さんも考えてみてはいかがでしょうか。

市町村合併のメリット (自治省資料)

実現の可能性・不可能は別として、自治省の説明によるメリットを讀んでみて下さい。

一、住民の利便性の向上

●利用可能な窓口の増加により、住民票の発行などの窓口サービスが、住居や勤務地の近くなど多くの場所で利用可能になる。

●旧市町村界を越えた見直しにより生活の実態に即した小中学校区が設定

できる。

●利用が制限されていた他の市町村の公共施設(図書館、スポーツ施設、保健福祉センター等)が利用しやすくなる。

●勤務地等に近い保育所に子供を預けられるようになった。

●公共的団体の統合や新設が図られ、多様な事業、広域的な事業等の展開が可能になる。

●社会福祉協議会の統合、シルバー人材センターの設置により高齢者へのサービスが充実。

●観光協会、商工会等の規模拡大により、大規模で広域的なイベントが実施可能に。

(来週号以降につづく)

身体障害者福祉制度のお知らせ

I 身体障害者手帳

1 目的
身体障害者手帳とは、身体障害者福祉法第15条に基づき知事（中核市は、市長）が交付するものです。

2 申請及び交付

身体に障害のある方が各種の更生援護を受けるには、身体障害者手帳が必要です。申請方法は次のとおりです。

- ①交付申請書（印鑑が必要）
- ②診断書・意見書（都道府県知事・中核市長の指定を受けた医師が記入）
- ③写真1枚（たて四、○cm×よこ三、○cmで脱帽して上半身を写したもので申請のときから、一年以内に撮ったもの）
- ④①③を市福祉事務所・町村役場に提出して下さい。

3 こんなときは、市福祉事務所・又は役場へ届け出を
①手帳を紛失したり破損したとき
②新たな障害が加わったり障害の程度が変わったとき

③住所や氏名が変わったとき
④死亡したとき

II 更生医療の給付

1 目的
身体障害者（身体障害者手帳所持者）の障害を軽くしたり、除去する手術を行う等、身体障害者の更生に必要な医療費の給付を行っています。

2 申請方法等

市町村長に申請し、身体障害者更生相談所の判定を経て更生医療指定医療機関で医療を受けられます。

3 費用

本人又は扶養義務者の所得税の課税状況に応じ、費用の一部又は全部の負担があります。ただし、生活保護世帯及び市町村民税非課税世帯は無料です。

III 補装具の給付

1 目的
身体の失われた部分や障害のある部分を補って日常生活や働くことを容易にするための補装具の交付や修理を行っています。

理を行っています。

補装具の種類には、義肢、義足、車いす、補聴器、補聴器の電池交換などがあります。

2 申請方法等

市町村長に申請し、原則として身体障害者更生相談所の判定を経て補装具の交付（修理）を受けられます。

3 費用

本人又は扶養義務者の所得税の課税状況に応じ、費用の一部又は全部の負担があります。ただし、市町村民税非課税世帯は無料です。

IV 重度心身障害者医療費助成

1 目的
重度の心身障害者が医療に要した費用の自己負担分を助成します。

2 対象者

①身体障害者手帳の等級が、1、2級の者
②身体障害者手帳の等級が3級で知能指数が50以下の者（療育手帳B1所持者）

③療育手帳A1、A2の所持者

3 手続等

助成方法は、市町村において受給資格者登録を行い、医療機関で一部負担金の額の証明を受けて市町村に請求します。

V 日常生活用具の給付

在宅の重度障害者が、自立して日常生活を営むことを容易にするために、日常生活用具の給付等を行っています。（特殊寝台、特殊便器、入浴補助用具、歩行支援用具等）なお、費用については所得により無料又は一部自己負担となります。

VI 経済的負担の軽減

- 1 JRの旅客運賃割引
 - 2 航空運賃の割引
 - 3 有料道路通行料金の割引
 - 4 バス運賃の割引
 - 5 タクシー運賃の割引
 - 6 NHK放送受信料の減免
 - 7 自動車税等の減免
- ※詳しいお問い合わせは、役場民生課福祉係へ

平成十三年度

川原保育園入園申込受付について

平成十三年度川原保育園入園申込の受付を一月二十六日までいたします。申込書は役場民生課及び川原保育園に準備してあります。

なお保育園の入園には、基準があります。次の基準に該当する場合に入園できます。わからない点がございましたら役場民生課福祉係までご連絡下さい。

- ①（家庭外労働）児童の親が家庭の外で仕事をするのが普通なので、その児童の保育ができない場合。
- ②（家庭内労働）児童の親が家庭で児童とはなれて日常の家事以外の仕事をするのが普通なので、その児童の保育ができない場合。
- ③（親のいない家庭）死亡、行方不明、拘禁などの理由により親がいない家庭の場合。
- ④（母親の出産等）親が出産の前、病後、負傷、心身に障害があったりするので、その児童の保育ができない場合。
- ⑤（病人の看護等）その児童の家庭に長期にわたる病人や、心身に障害のある人がいるため、親がいつもその看護にあたっており、その児童の保育ができない場合。

⑥（家庭の災害）火災や風水害や地震などの不幸があり、その家庭を失ったり、破損したため、その復旧の間、児童の保育ができない場合。

川原保育園の行っている特別保育

- 乳児保育事業
0歳児（概ね3か月から）の保育を行います。
- 学童保育（放課後対策事業）
昼間保護者のいない小学校低学年児童を対象とし、遊びを主として指導を行い児童の健全育成を図ります。（申込者のみ）
- 延長保育
保護者の就労時間に対応し、午後7時まで保育を行います。（申込者のみ）
- 保育所地域活動事業
・老人福祉施設訪問等世代間交流事業
・特別養護老人ホーム南松園の入所者と各種行事を通じて世代間のふれあい活動を行います。
- ・異年齢児交流事業
・保育園児と地域の児童が各種行事を通じて交流を行います。

鹿屋市人権講演会 かのや男女共同参画社会づくりフォーラム

21世紀は、男女が共に社会の対等な構成員として自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画し、男性も女性もともに尊重しあい、責任を負うべき社会です。そこで、キャスター等で活躍中の「運舩」さんといっしょに人権や男女共同参画についてみんなで語り合い、考えましょう。



運舩講演会

講師 運舩（キャスター・パーソナリティー）

プロフィール
1967年東京都生まれ。大学時代第15代クラリオンガールに選ばれる。大学卒業後、「スーパーワイド」情報・報道番組のキャスターを務める。95年より2年間中国に留学。帰国後は、中国文化スベシヤリストとしても幅広く活動中。

主催 鹿屋市・鹿屋市教育委員会・鹿屋人権啓発活動地域ネットワーク協議会

とき 平成13年2月24日（土） 午後1時から4時

ところ 鹿屋市文化会館（北田町11107）

☆ 講演会に引き続いてパネルディスカッションもあります。パネラーに講師の「運舩」さんも出演していただきます。

入場料無料です。

保育（満2才から6才まで）、手話通訳あります。問い合わせ 鹿屋市 市民環境部 市民課（電話31-1114）

交通事故相談の日程について

- 1月29日（月）
 - 2月26日（月）
 - 3月26日（月）
- 13時～15時30分

弁護士 藤枝 紘一郎

鹿屋支所（鹿屋合庁内）
電話0994-43-3121（代表）（内線218）

年末・年始の 交通事故防止運動

期間2000年12月22日～2001年1月10日

早めの点灯は

交通安全の

シンボルサインです



ライト点灯のサインボード

- 日没30分前には前照灯（下向）をつけましょう。
- 雨天時は、昼間でも点灯しましょう。

早めの点灯時間
12月・1月……17時頃

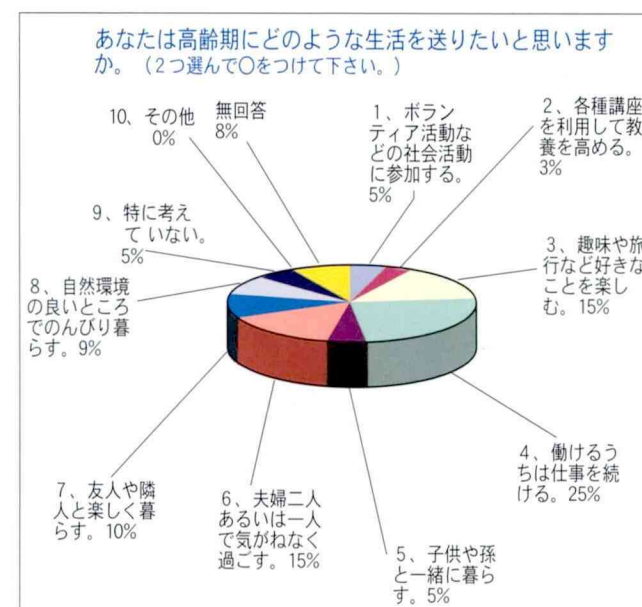
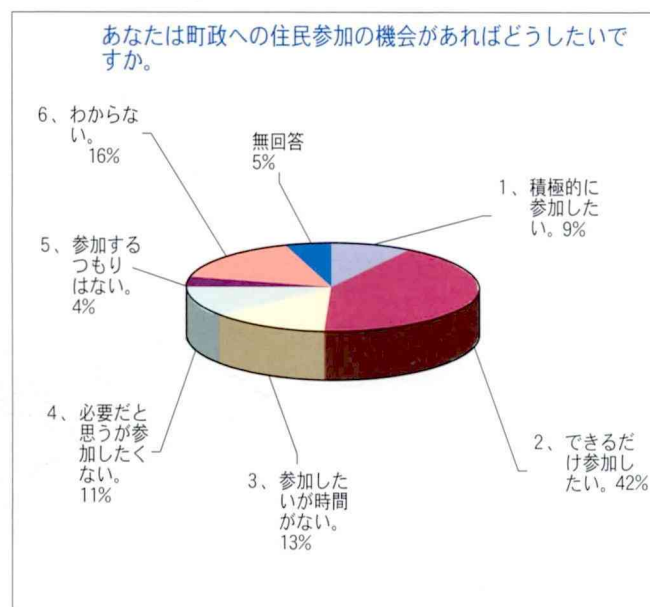
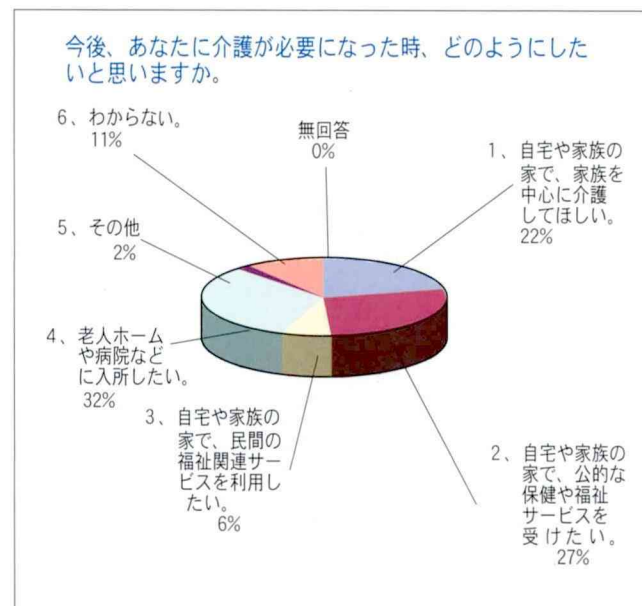
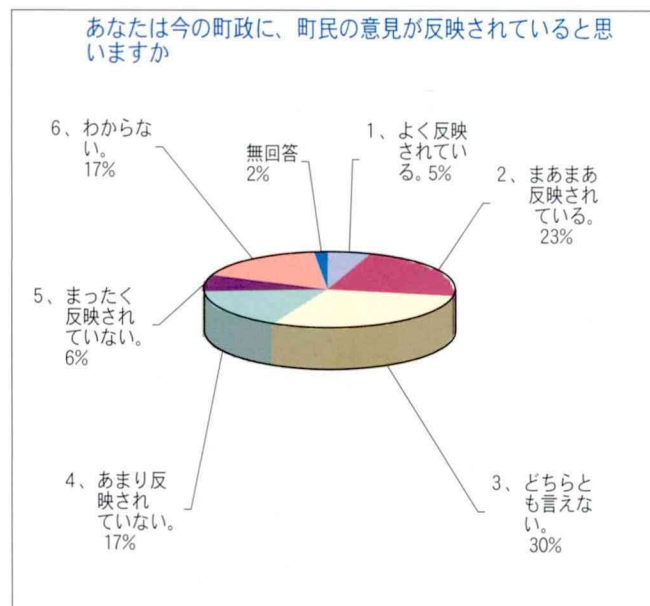
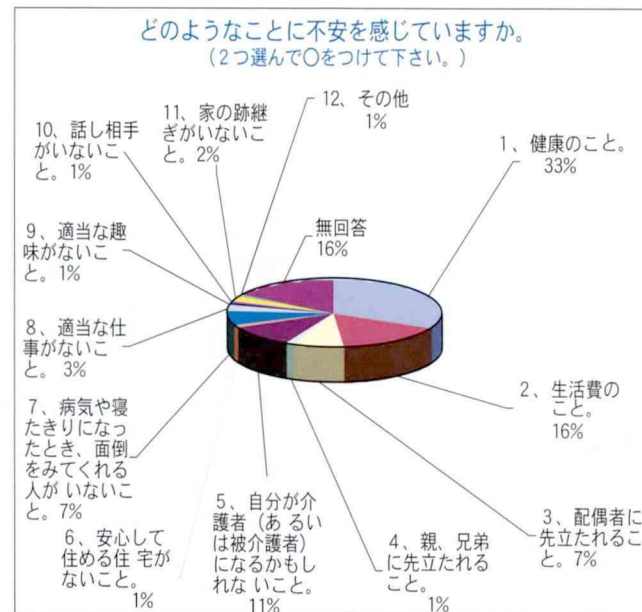
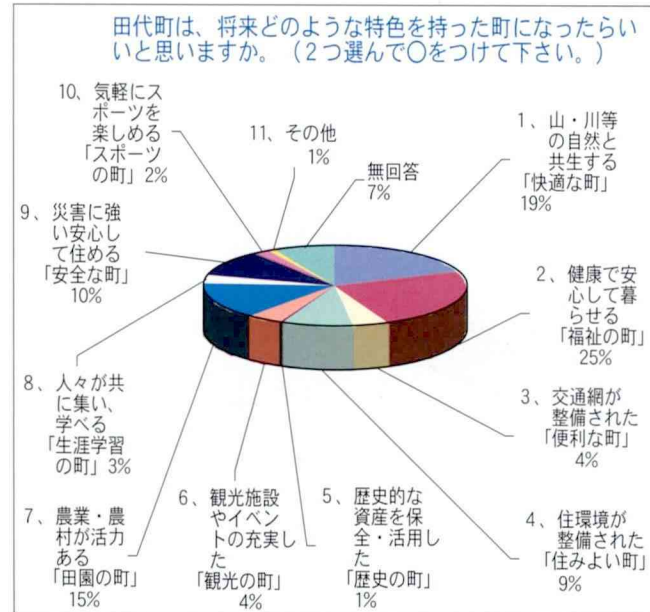
今すぐ確認！最低賃金

鹿児島県内の使用者は、これらの最低賃金より低い賃金で労働者を使用することはできません。

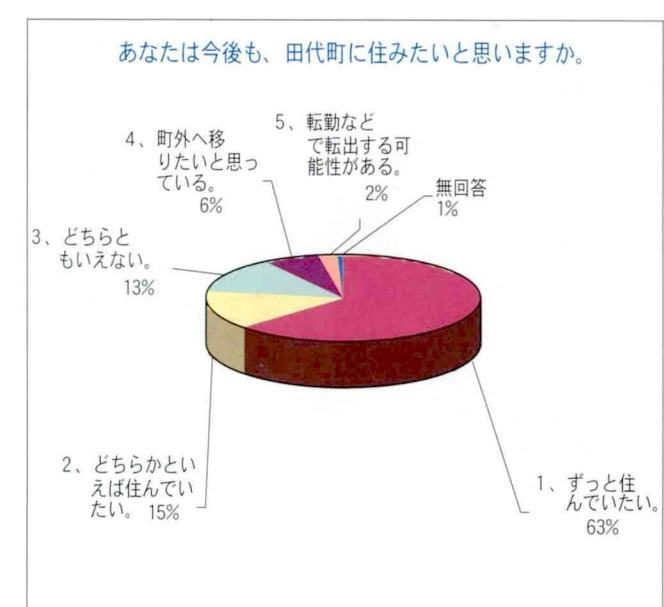
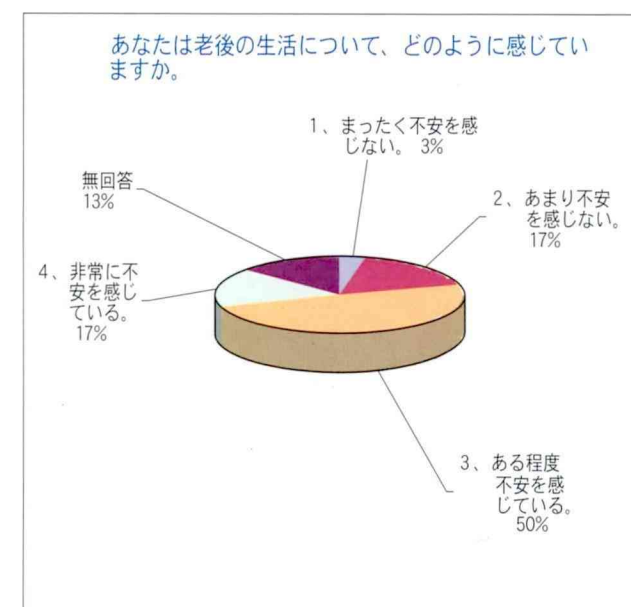
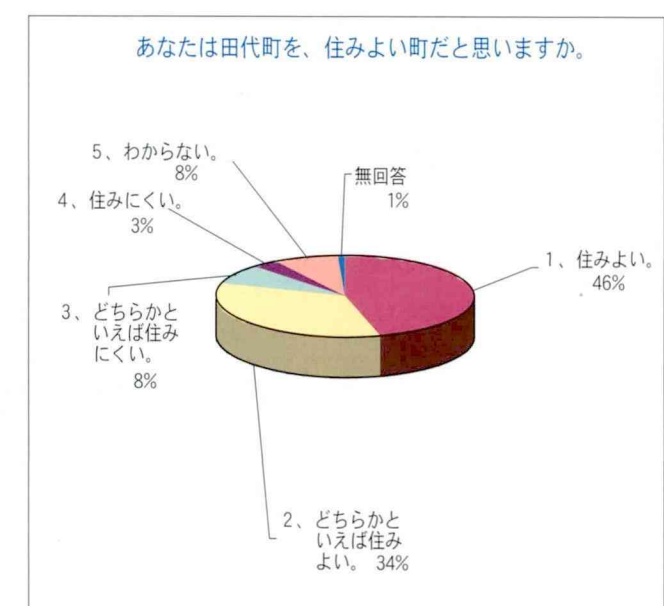
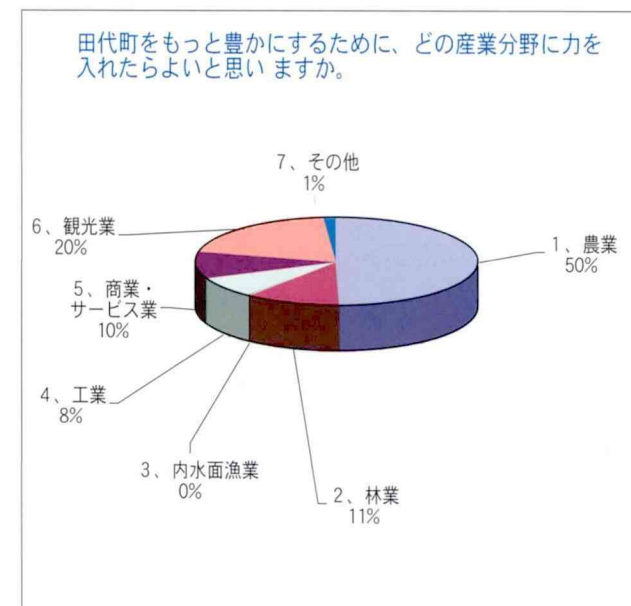
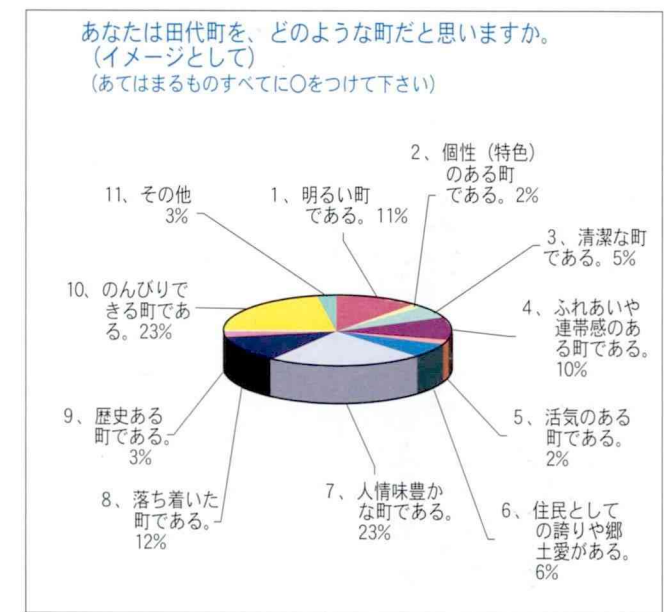
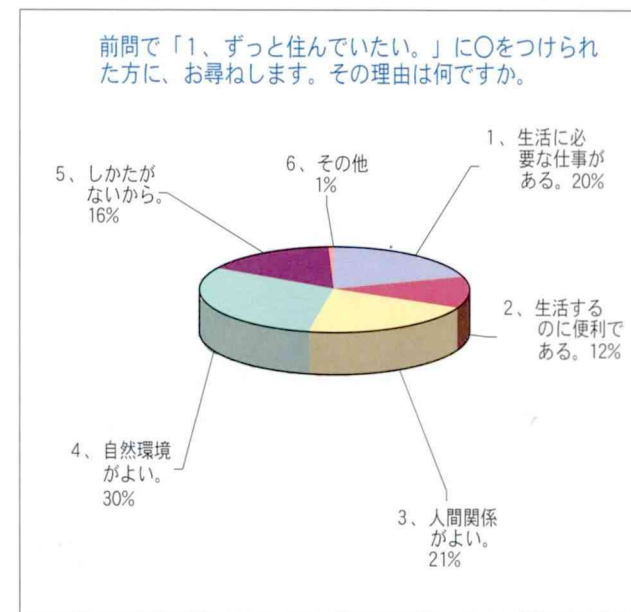
鹿児島県最低賃金	最低賃金額（円）		適用範囲	効力発生日
	日額	時間額		
	4,796	600	鹿児島県下のすべての労働者に適用されます。ただし、産業別最低賃金対象業種に該当する場合は別途産業別最低賃金が適用されます。	平成12年10月1日

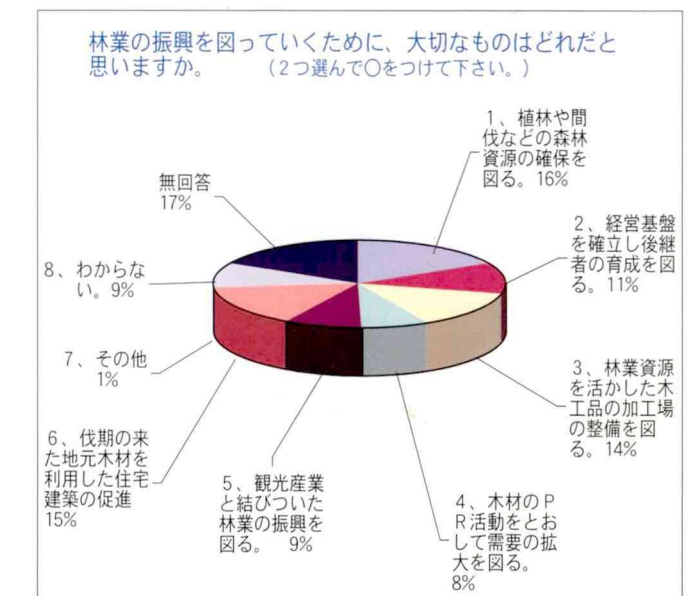
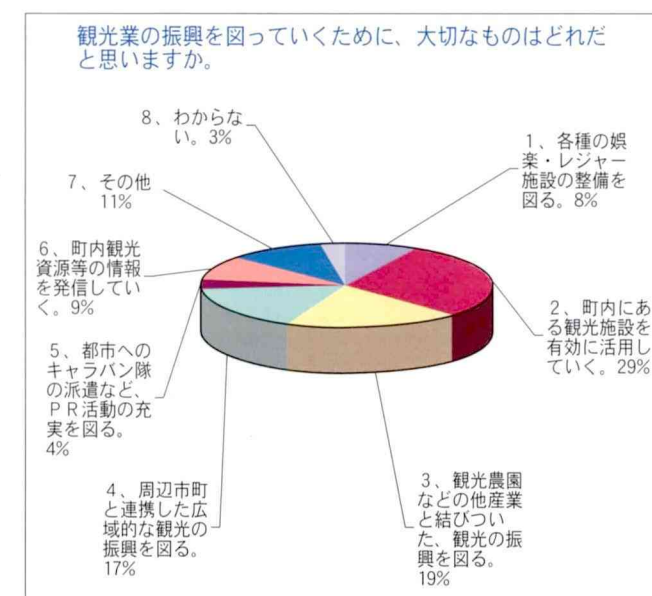
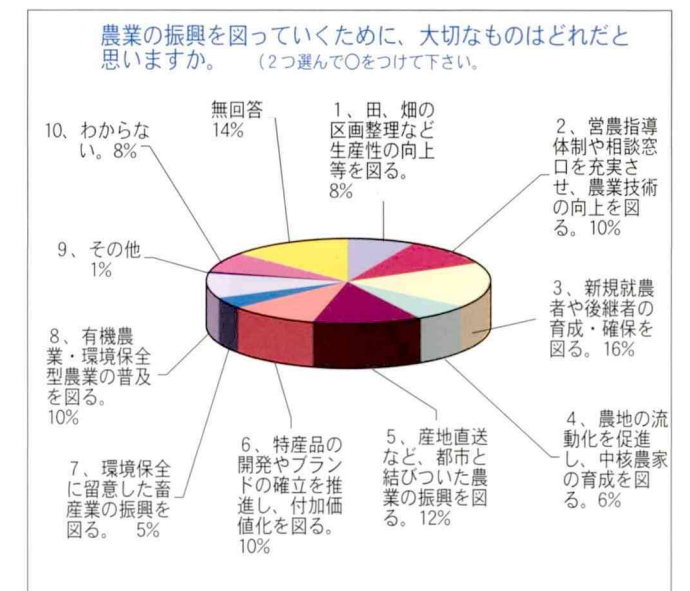
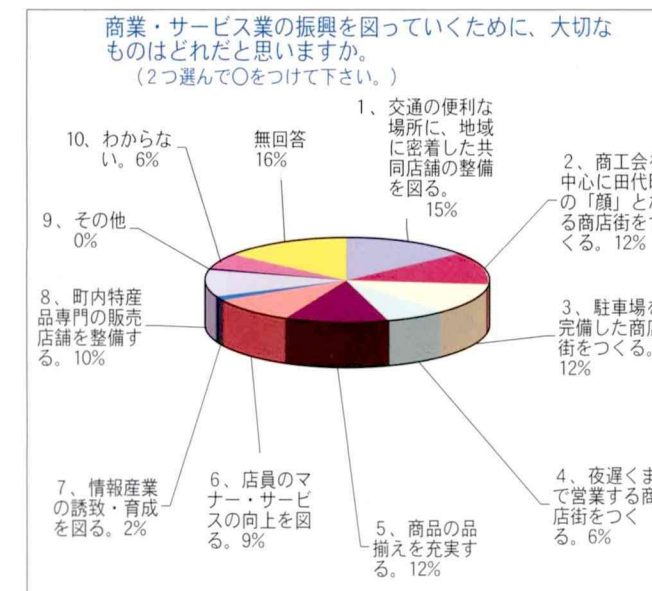
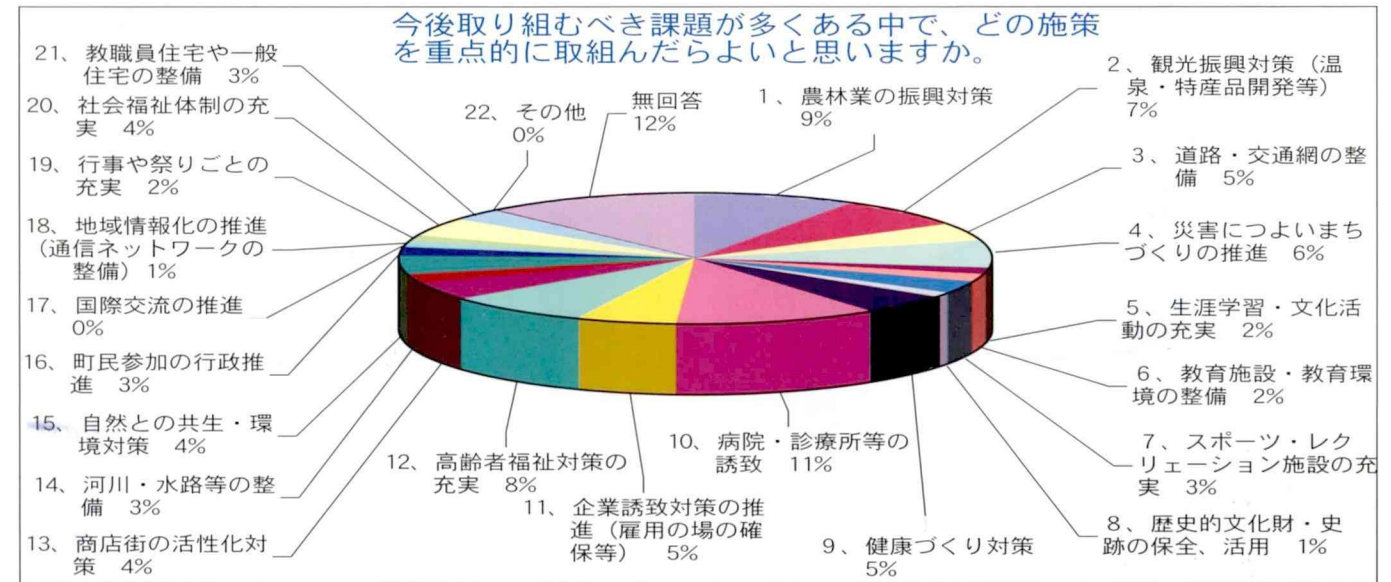
鹿屋労働基準監督署（0994）43-3385

田代町総合振興計画策定に係わるアンケート調査票集計結果 2



田代町総合振興計画策定に係わるアンケート調査票集計結果 1





来月号以降につづく



国営肝属南部農地開発事業 平成十四年度の事業完了に向けて急ピッチ!! 今年度は事業計画変更の年

昭和六十一年に着手され

た肝属南部国営総合農地開発事業は、平成十四年度の事業完了に向けて、現在、造成団地に水を引くためのパイプライン工事を町内各地で行っています。大変なご迷惑をおかけしていることと申します。

早期完成に向けて行っているため、今年度は、半ヶ石頭首工（水源）に本町が近いことと集中的に工事が行われていきますので、何とぞ御協力下さいますようお願い致します。

この農地開発における本町の造成及び区画整理を行った団地は、長尾・永山・中村上原・川原・辺志切・原沢ノ後団地の6団地、面積は、畑が約六十六ヘクタール、水田が約十六ヘクタールの計八十二ヘクタールの面工事が平成十年度までに整備されています。後は、この広大な耕地（水田を除く）に水を供給する施設工事が急ピッチで行わ

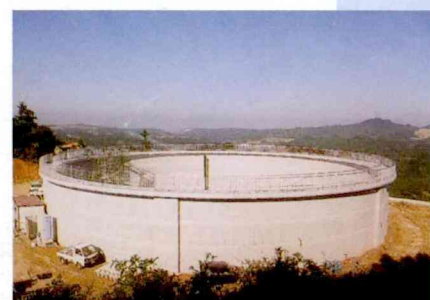
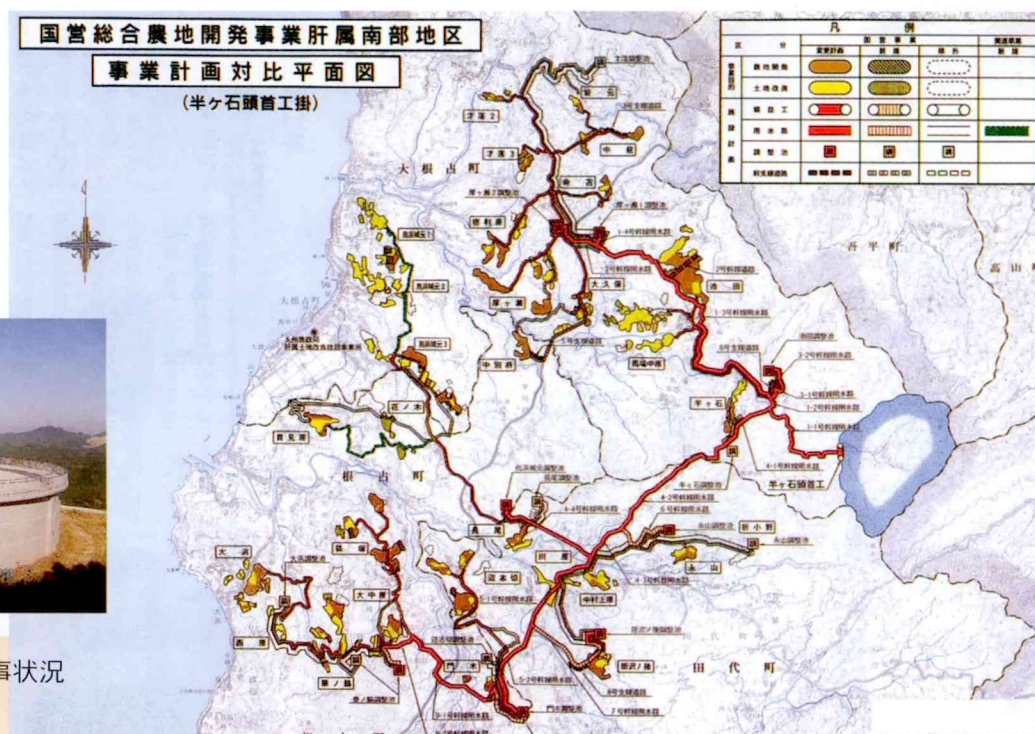
れているところです。完成後は水を利用した営農が進められ、天候に左右されない計画的な営農、新規作物の導入など次世代への農業基盤づくりとして期待が寄せられています。

又、この事業は当初、半ヶ石にダムを建設して各団地に水を供給する計画になっていましたが、開発面積の縮小により平成八年度に第一回目の計画変更を行いダム方式から半ヶ石川の上流に頭首工という井関を設けそこからパイプラインで各団地の貯水施設調整池に水を貯め計画的に圃場へ散布する畑かん計画になっています。本町においては現在、原沢ノ後団地を供給する原沢ノ後調整池の建設工事が行われていますが、この外に永山団地と中村上原団地を供給する永山調整池、長尾団地と大根占の鳥浜城元団地に供給する鳥浜調整池、辺志切団地と根占町の門木団地に供給する門木調整池が計画されています。

その一部が着工されています。受益者の皆様方には、平成十四年度事業完了に向けて、今年度、第二回目の計画変更を行わなくてはなりません。このため各団地の推進委員さんが、この変更同意手続きに直接お伺いいたしますのでご協力をお願いいたします。

“お願い”

今年度工事では特に、田代町から大根占町へのパイプライン埋設工事で現在、花ノ木附近で約四キロに渡り二業者八班体制（八ヶ所）で年度内完成に向けて実施しているところですが、信号機待機など交通に大変支障をきたしていることと申します。班体制を多くすることで数年掛かっていた工事を早期完了することと御迷惑を短期に留めることを図っているところでありますので趣旨を御理解の上、重ねて工事の御協力をお願い申し上げます。



原沢ノ後調整池建設工事状況
円形PCタンク式
容量 8,200トン
受益団地・原沢ノ後団地

学級だより

川田 原代 幼稚園

一年のうちで一番子どもたちの成長が感じられ、伸び伸びと園生活を楽しんでいるのが秋です。園内だけでなく戸外へとびだし、いろんな物に触れ、見たり、聞いたり、刺激をたくさん吸収しながらまたひとつ大きくなります。

○秋の遠足



おいしいお弁当をお腹いっぱい食べたよ



でんしろう館にて読み聞かせをきく

○芋ほり



“ほら、僕がほった芋だよ”



給食やおやつに入れてね!! 楽しみ!

○誕生会



“おばあちゃんのお弁当も食べていい?”



“私の夢はお花屋さんになることです”



どこまで高く積めるかな?



兄弟仲よくおひるねです

○未満児さんのひとこま

心を育てる本も 友だち20分間運動

田代町読書シンポジウム開催
12月12日、「広げよう! 読書を通じて生涯学習」をテーマに、田代町読書シンポジウムが開催されました。

田代小親子読書グループによる朗読「のはらみんなのはらのうた」や読み聞かせ「わたしのいもうと」の後、シンポジウムが開催されました。来年度は、子ども読書年にあたるため登壇者の一人として田代中3年西迫真美さん、親子読書実践者として楠元るみ子さん、中央公民館利用者として田中克子さん、それぞれ3名の方に読書とのかかわりについて発表をいただきました。会場からも意見が出され、大変充実したシンポジウムとなりました。



すばらしい発表をした3名皆さん



読み聞かせ「わたしのいもうと」



朗読「のはらみんなのはらのうた」

学校だより

田代小学校

○学習発表会

朗読、合唱・合奏、竹太鼓等日頃の学習の成果を発表しました。



つなひきで秋のチャンピオンを決めよう。(1年生)



「のはらうた」の詩を一人ずつ発表したよ。(2年生)



心を一つにして歌おう。(3年生)

○お年寄りとのふれあい

六年生が、校区のお年寄りと一緒にランドゴルフをしたり、給食を食べたりしました。お年寄りと楽しく交流ができました。



おばあさん、おつけものをどうぞ。(6年生)

○持久走大会

多くの保護者の声援を受け、全員が完走することができました。十人の子どもたちが新記録を出し、大健闘しました。



さあ、がんばろう。(4年生)



最後まで精一杯走ろう。(5・6年生男子)

○ふれあい学級しめ縄づくり

12月11日～15日にかけて、しめ縄づくりを老人福祉センターで行いました。老人福祉センターでは、ふれあい学級生が、西川さんの指導のもと、正月用のしめ縄づくりに挑戦しました。一人一人慣れない手つきでしたが一つの作品を完成させるために一生懸命でした。



しめ縄づくりの様子

大原地区公民館優勝

11月16日、第6回地区公民館対抗バレーボール大会が開催されました。今回は5チームの参加があり、熱戦の結果、大原地区公民館が優勝を飾りました。



16日(木) 午後6時30分 第1試合開始

優勝 大原 準優勝 川原地区公民館

第6回地区公民館対抗バレーボール大会成績表

川原	花瀬	上原	大原
21-17	13-21	14-21	15-21
16-21	9-21	21-14	
21-19		21-18	



たしろいきいきフェスタ会場の様子



茶道コーナー



お楽しみ抽選会

たしろいきいきフェスタ

11月3日（金）、健康・文化地域振興をテーマに秋の一大イベントとして、「たしろいきいきフェスタ」を花瀬を中心に開催されました。開会セレモニーでは、「未来の田代町」の作文発表がありその後、表彰や講演がありました。

花瀬大橋からスタートする2kmや4kmの完走歩大会には、2歳から70歳まで約300名が汗を流しました。

午後からは、町民文化祭が、花瀬公園多目的広場であり、13の団体による舞台発表のほか、花瀬でんしろう館では、児童生徒の作品や公民館講座生の作品等、多数の展示発表もあり、町民総参加による「文化の秋」を満喫した一日となりました。



ゴールも目の前



笑いのあった橘家園蔵師匠の講演



子どもとおとなのふれあいコーナー



完走歩大会いよいよスタート！



大原中学校による合奏



田代小リードバンドによる合奏



(公民館講座) フォークダンスグループによるフォークダンス



囲碁コーナー



展示発表コーナー



田代中学校による合唱

町小中学校音楽祭

11月22日、町中央公民館ホールにおいて、町小中学校音楽祭が開催されました。町内の全児童生徒が参加し、お互いの日頃の音楽学習の成果を発表し合いました。

田代中学校全校生徒による迫力のある合唱や大原中学校3年生による合奏や町教職員全員による合奏などすばらしい発表が数多く見られました。

また、町民の皆様にも参加していただき、音楽のすばらしさを分かち合うことができました。



大原小学校全校児童による合奏



大原中3年生による合唱



田代小学校5年生斉唱



田代中3年生による合唱

平成13年 田代町成人式

とき 平成13年1月3日

受付 午前9時30分

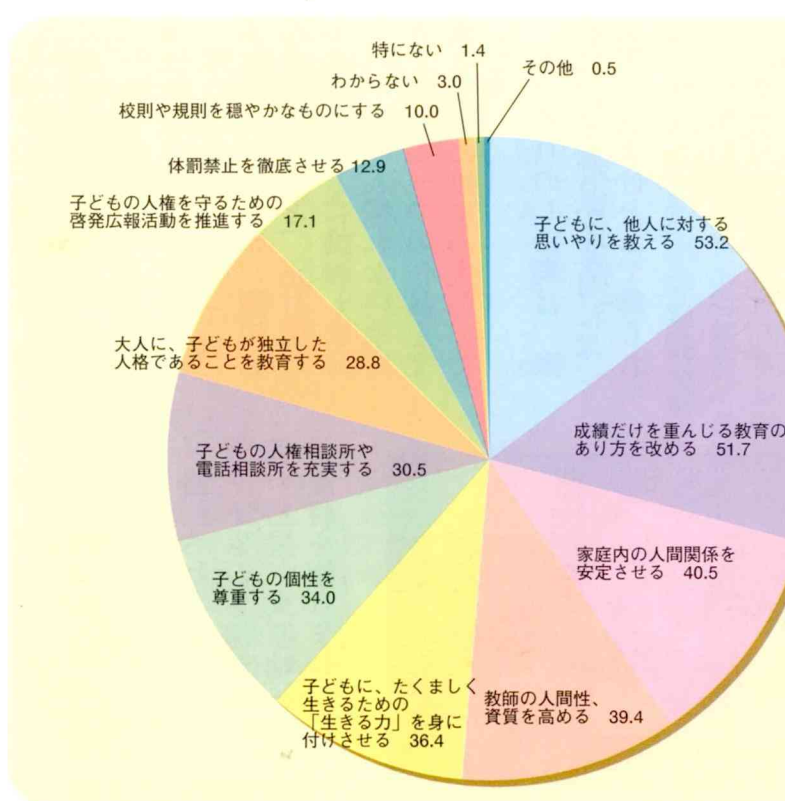
開会 午前10時

ところ 花瀬でんしろう館

主な内容

- ・オープニング(和太鼓)
- ・灯のつどい
- ・式典
- 町長式辞 議長祝辞
- 新成人の主張 他

成人式会場



人権・同和問題について考えよう

ぶたれても
なお親恋し
子の涙

大人が抱えるストレスや不安などから、弱い立場の

子どもにも暴力を振るう児童虐待が問題になっています。子どもは親に従属するものではなく、ひとりの人間として尊重すべき人格を持つています。児童虐待を許さないような社会をつくりましょう。

子どもの人権擁護のために必要なこと(複数回答)(%)

新世紀の教育の推進



教育長 井上 洋一

新年明けましておめでと
うございます。

記念すべき二十一世紀の
始まりの新年を迎え、町民
の皆様方共々新世紀の幕明
けを祝いたいと思います。

新しい世紀と共に学校教育
も改革の時を迎えています。
平成十四年度からは新
学習指導要領による教育が
展開されることになってい
ますが、今年はその前の年
に当り、それぞれの学校で
創意工夫を凝らした特色あ
る教育活動が実践されま
す。最も特徴的なことは
「総合的な学習の時間」が
設定されることです。その
ねらいは、子供たちが自分
で課題を見つけ、その課題
を自分たちの力で解決しよ
うとする能力を培うことで

あります。そのためには、
それぞれの教科の基礎的な
学力がしっかりと身につい
ていることはもちろん、パソ
コン等を駆使できる多面的
な能力を身につける幅広い
教育活動が展開される必要
があります。この新しい学
校教育の展開に注目いた
だきたいと思っています。

これからの教育でもう一
つ大切なことは、青少年の
「心の教育」をどう進めて
いくかということです。学
校における道徳教育を中心
とした心の教育を進める一
方、家庭においても人の心
の痛みの分かるやさしい心
を持つ人間に育てるために
家庭教育の在り方を考え、
親も子と共に成長する家庭
でありたいと思います。

青少年の健全育成につぎ
ましては、地域社会でも大
きな関心を持っていただい
ており感謝致しております
が、田代の子供たちを大人
の責任で正しく育てるとい
う気風をさらに強くしたい
と思います。

新しい時代にふさわしい
社会教育は、誰でもいつで
もどこでも学べる学習環境
を築いていかなければなり
ません。学習やスポーツや
趣味の活動を町民一人一人
が享受でき、楽しく生き甲
斐の持てる日常生活が築け
る学習環境の構築に努力し
たいと思います。

新しい世紀は希望に満ち
た輝かしい時代になるとは必
ずしも思いませんが、二十
一世紀は「心の時代」と言
われています。人と人との
仲良く助け合い、心豊かに
生きていける時代になるよ
う皆んなで力を合わせたい
と思います。そのためには
地域の方々と学校や各種団
体の方々が英智を集め、教
育委員会がその要となって
本町の教育活動が一步でも
前進する努力をしたいと思
います。

新しい年を迎え、町民の
皆様方が益々健やかであり
ますよう祈り、新年のごあ
いさつといたします。

役場のホールでいつでも 美味しい田代のお茶を



ヨロンマラソンを走ろう



周囲22kmの美しい小島で開催されるヨロンマラソンが今年で第10回の記念大会を迎えます。

本町とは、姉妹町であり、その事を再認識する意味を込めて、2年前から役場若手職員数名が独自で参加・交流して来ましたが、今回は第10回記念大会と云う事で、町民の方々の中にも参加者がいるのではと考え「広報だしろ」の紙面を借りて参加者を募集しているところです。

希望者がいらっしゃいましたら、役場内の「ヨロンで走ろう会」までお問い合わせ下さい。

1. 期 日 平成13年3月11日(日曜日)
2. 種 目 フルマラソン(42.195km)
ハーフマラソン(21.0975km)
リレーマラソン(5人1組)
3. 参加費 5,000円
(ウエルカムパーティー代含む)

※この他に航空運賃等として約60,000円位かかります。

4. 申込方法 1月22日頃までに役場へ問い合わせ
いただくか、直接、ヨロンマラソン
事務局(0997-97-5123)へ

休日在宅当番医

12月29日、30日、31日、1月1日、2日、3日

年末・年始は肝属郡医師会立病院 2-3111

月 日	当 番 医	TEL
1月7日	二川内科胃腸科	2-2033
1月8日	肝属郡医師会立病院	2-3111
1月14日	津 崎 医 院	4-2153
1月21日	黒 木 医 院	6-0013
1月28日	大 根 占 医 院	2-2658
2月4日	濱 畑 医 院	5-2130

※県立鹿屋病院(眼科)は平成13年1月から休診します

町民のうづき

お誕生おめでとう

氏 名 保護者 住所
嶋 児 穂高隆 一東ノ原
原ノ後みのり 亮 下

ご冥福をお祈りします

氏 名 年齢 住所
大園ミツエ 91歳 鶴園

田代町社会福祉協議会
「篤志寄附金」

大園 忍 様

人口のうづき

平成12年12月1日現在

住民基本台帳		増		減		前月 対比
		出生	転入	死亡	転出	
男	1,695	1	6	0	4	3
女	1,850	1	4	0	2	3
計	3,545	2	10	0	6	6
世帯数	1,460					△1

町スポーツ少年団交歓会

12月2日、町スポーツ少年団交歓会が中央公民館と中央運動場で開催されました。

町内6つのスポーツ少年団から団員、指導者、育成者合わせて約百十名が参加して、スポーツテストやレクリエーションゲームをしました。団の枠を越えてお互いに助け合いながら楽しく活動できました。

各団ともにこれからの活躍が楽しみです。

団 体	団員数
田代サッカー少年団	14
田代剣道少年団	27
田代水泳(バレー)少年団	20
田代ソフトボール少年団	42
大原剣道少年団	11
大原バレーボール少年団	8



さあ、がんばるぞ!

川原地区村づくり相撲大会

11月19日、若宮神社で川原地区村づくり相撲大会が開催されました。川原・花瀬・大原地区の子ども会、青年、婦人会まで約四百名が参加して、相撲大会を盛り上げました。力の入った取り組みでは、歓声と拍手がこだまし続ける一日でした。



力の入った取り組み(中学生)



最後まで気合いを入れて(小学生)

編集途中下車 33

最近よく耳にする「IT」(情報通信技術)の飛躍的発展により、国民総IT化社会に向けた取り組みがなされていきます。

その手始めとして、IT基礎技能(①パソコンの基本操作②ワープロ文書の作成③インターネットの利用④電子メールの送受信)が習得できるようにします。(平成13年4月頃)

今までは、パソコンコンを使った事が無い人々にも電源の入れ方から簡易な文章の作成までを12時間かけて講習してくるという大変な取り組みが、この講習会では、出来る人は対象にしておりませんので、安心して申し込んで下さればと考えています。

来月号位でアンケートを実施し、希望者の募集は3月頃になる予定です。

国も本腰を入れて「日本新生プラン」の施策として取り組んでいまして、町民の皆さんもこのチャンス逃さないようにパソコンの使い方を覚えてくだされば幸いです。

世間やマスコミはパソコンやインターネットについて盛んにあおって振わっていますが、御自分の目で確かめてみる事が一番大切な事だと思えます。(好)

平成12年 主な出来事



- 1 消防出初め式で県消防・防災ヘリコプター救助訓練実施 1月6日
- 2 近川正人・良子夫妻、葉たばこ生産功労者感謝状
(全国表彰) を受賞 1月24日
- 3 中野光次氏所有「しずこ号(平茂勝)」和牛登録審査で本町
最高得点88.0獲得 2月4日
- 4 茶生産額7億円突破による記念式典開催 2月10日
- 5 元気おこし定住促進住宅「上原団地(旧営林署住宅跡地)」
に2棟建設 3月31日
- 6 介護保険サービス開始 4月1日

- 7 照葉樹の森開園式(須賀知事来町) 4月28日
- 8 花瀬でんしろろ館「農林山うんめもん市」開催
(毎月開催へ発展) 5月20日
- 9 坂元マキさん(本町最高齢)100歳を祝う 6月2日
- 10 大根田焼却場閉鎖により、ゴミの分別収集開始 7月1日
- 11 ALTリディアさん2年間の任期を終了。
新たにリチャードさん着任 7月24日
- 12 田代剣道スポーツ少年団全国大会(東京)出場 7月26日



- 13 近畿地区田代会子ども交流事業で17名が来町、田代で
自然体験等の研修 7月28日~31日
- 14 山下集落、町営水道加入。 9月1日
- 15 上久保文夫氏所有「いちふじ8号(神高福)」県畜産共進会
でグランドチャンピオン賞獲得。又、女性審査競技大会で
(近川良子・水流洋子・山元洋子さん)県第1位獲得
..... 10月5・6日
- 16 津曲寛雄氏(3期12年)の教育長を退任 10月23日
- 17 井上洋一氏(前西紫原中校長・元町教育委員会勤務)
新しい教育長に就任 11月1日



- 18 たしろいきいきフェスタ(振興大会・文化祭・健康まつり・
生涯学習大会・完走歩大会)開催 11月3日
- 19 田代町合同金婚式開催(66組・3年に1回開催) 12月20日



◆叙 勲◆

上八重勇吉(元、町議)氏

「春の叙勲・勲六等單光旭日章」高齢者叙勲を受賞

富尾 一己(保護司)氏

「秋の叙勲・藍綬褒章」を受賞